

NHK

非売品

ジュニアガイド

しょうとく たいし ほうりゅう じ 聖徳太子と法隆寺



このジュニアガイドは「聖徳太子と法隆寺」展の鑑賞の手引きとして、小学校高学年から中学生までを対象に作成しました。

制作／NHK大阪放送局 監修／奈良国立博物館 構成・イラスト／翁みほり

無断転用禁止 複写禁止

聖徳太子1400年遠忌記念 特別展「聖徳太子と法隆寺」

会場 奈良国立博物館 東・西新館

会期 2021年4月27日(火)～6月20日(日)

午前9時30分～午後5時(土曜は午後7時まで) ※入館は閉館30分前まで

休館日 毎週月曜日 ※ただし、5月3日は開館

問合せ 050-5542-8600(ハローダイヤル)

奈良国立博物館ホームページ <https://www.narahaku.go.jp/>

世界の「びじゅつ」を
井上涼さんの歌とアニメで紹介!



「玉虫の家庭教師が玉虫厨子」

放送日時 番組ホームページをごらんください。

奈良の情報満載! いつでも生放送!
番組ホームページはニュース動画も充実!



クイズのこたえ

- クイズ1** ③ 大きい天人が2人と小さな天人が2人います。
その中には、笛を吹いている天人もいます。
- クイズ2** ② 両耳のあたりで髪の毛を結う髪型を「みずら」といいます。
この像では、みずらの髪型で少年であることを表しています。
- クイズ3** ② こうした太子の16歳のすがたを「孝養像」といい、
このようなすがたの絵や仏像がたくさんつくられてきました。
- クイズ4** ③ あらゆる人びとをもらさず救うために、
手の指の間に水かきがついています。
- クイズ5** ① 粘土だと細かい部分まで丁寧に（ていねい）
（なんど）だからこの像はこんなにリアルな表情をしているのかも？

【写真について】

P4の写真は東京国立博物館より、P14の涅槃像の写真は入江泰吉記念奈良市写真美術館より、それぞれご提供いただきました。そのほかは当館で撮影しました。



聖徳太子^{しやうとくたいし}ってどんな人？

聖徳太子が生まれたのは、
今からおおよそ一四五〇年
ちかく前のこと。



用明天皇^{ようめいてんのう}という天皇^{てんのう}の二番目の
男の子として生まれました。



太子は、日本に伝わったばかりの
仏教^{ぶつぎやう}を深く勉強し、人びとに
広めたことで、よく知られています。
法隆寺^{ほくりゆうじ}などのお寺も建てました。

また、太子は政治家^{せいじか}として、日本の国の

仕組みをととのえたことでも有名です。
仏教をとり入れた政治をおこない、
争いのない平和な国づくりをめざしました。

そんな太子を多くの人がびとが
したうようになります。

太子が亡^なくなってからも、
太子をしたう思いは、人びとの
間で受けつがれてきました。

そして太子をうやまう思いから、
太子にまつわるさまざまな
宝ものがつくられました。



◆ 仏教を広めた聖徳太子

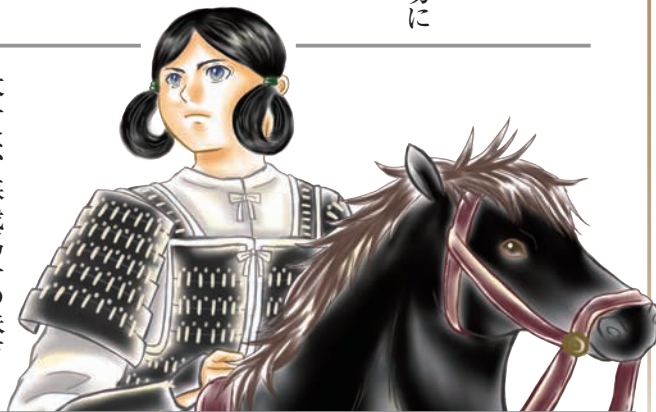
太子が生まれる前から、
仏教をめぐる争いが
ずっと続いていました。

そしてついに、仏教を大切に
しようとする蘇我馬子と、
仏教を受け入れない
とする物部守屋との間で
戦が起きてしまいます。



物部守屋

蘇我馬子



太子は、蘇我馬子の味方と
して戦に加わりました。

苦戦したけれど、
物部守屋を倒すことが
できました。

こうして仏教が日本に
広まっていきます。

仏像なども多く
つくられる
ようになりました。

太子のはたらきによって、
日本に仏教が
広まったのです。



1400年前につくられた仏像

細長い顔の形、アーモンドのような形
をした目など、どこか神秘的な感じが
する仏像。肩から足元まで伸びる衣
は、まるで魚のヒレのよう。太子もこ
うしたすがたの仏像をおがんでいたの
かも？

重文 菩薩立像
飛鳥時代・7世紀
奈良・法隆寺蔵

◆ 法隆寺 — 聖徳太子が建てたお寺 —

大人になった太子は、
奈良・斑鳩の地に宮殿を
建てて、そこで暮らしていました。

そしてその近くに、
お寺を建てることにしたのです。

そのお寺が法隆寺。

六〇七年に建てました。

やがて法隆寺は
仏教を広める大事な
場所になっていきました。



金色にかがやくかざり

儀式の時に高い柱からつり下げてかざられ
たもの。天から舞いおりる天人のすがたが
表されています。

クイズ1

天から舞いおりる天人は何人
いるでしょう？

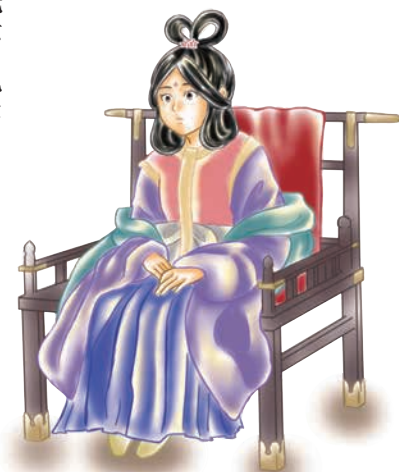
① 2人 ② 3人 ③ 4人



国宝 灌頂幡
飛鳥時代・7世紀 東京国立博物館蔵

太子がこの世を去って、
およそ百年後のこと。

太子が住んでいた土地は、
すっかり荒れ果てて
しまっていました。



その光景を見た
行信ぎょうしんというお坊さんが、
太子のために
お寺を建てたいと
その時の天皇の娘に
お願いします。

太子をしたう気持ちから、
そのように願い出たのです。



そうして、太子が住んでいた
場所にお寺が建てられる
ことになりました。

もとは法隆寺とは別のお寺
だったけれど、後の時代に
法隆寺の一部となりました。
今は法隆寺東院とういんとよばれています。



そしてそこには、
太子にまつわる
宝ものがたくさん
おさめられる
ようになりました。

また、太子をおまつりする
儀式「聖霊会しょうりやうえ」も開かれる
ようになりました。

子どものころの太子の像

太子が亡くなった日におこなう「聖霊会」でお
まつりするためにつくられた像。太子が生まれ
てから、およそ500年後につくられました。
衣のきれいな花のもようにもご注目！



重文 聖徳太子坐像（伝七歳像）

平安時代・治暦5年（1069）奈良・法隆寺蔵

クイズ2

この髪型かみがたの名前は何でしょう？

- ①まげ
- ②みずら
- ③おすべらかし



行信さんのすがた

今からおよそ1250年前につくられた
行信さんの像。厳しくつり上がった目
元など、意志の強そうな顔立ちがとっ
てもリアルです。



国宝 行信僧都坐像

奈良時代・8世紀 奈良・法隆寺蔵

聖徳太子のすがた

太子がこの世を去ってから、やがて太子は「救世観音」というほとけさまの生まれ変わりと信じられるようになりました。

時代が変わっても、太子をしたう思いは人びとの間で受けつがれていきます。

そして、太子にまつわるさまざまな伝説が生み出されるようになります。その中で、太子はさまざまなすがたに表されてきました。

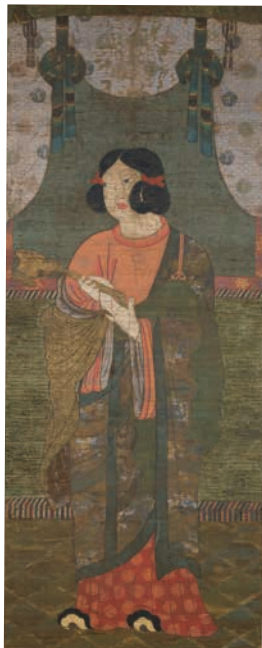


聖徳太子立像（二歳像）
鎌倉時代・徳治2年（1307）
奈良・法隆寺蔵

2歳のすがた

太子は2歳の春に、東の方角を向いて手をあわせ、ほとけさまをたたえる「南無仏」という言葉をとなえたと伝わっています。これはその時のすがたを表した像。きりっとした表情でとてもかしこそうに見えますね。

?歳のすがた



重文 聖徳太子像（孝養像）
鎌倉時代・13世紀
奈良・法隆寺蔵

太子が?歳の時、父である用明天皇が病にかかってしまい、太子はほとけさまに回復を祈りながらずっとそばにいたと伝わっています。この絵はそのすがたを描いています。お坊さんが着る衣（袈裟）を身にまとい、お香をたく道具を持っています。

クイズ3

このすがたは何歳の太子を表しているでしょう？

- ①12歳 ②16歳 ③20歳



太子が青年になったところ、
太子のおば（推古天皇）が天皇になります。

そして太子は天皇の政治をたすける
役割につきます。

太子は、仏教を取り入れた政治を
おこなっていきました。

仏教を政治にとり入れることで、
争いのない平和な世の中を
つくろうとしたのです。

推古天皇

また太子は、仏教の研究にも
力を入れました。

三つのお経
『勝鬘經』・『維摩經』・
『法華經』について人びとに
くわしく話したり、
お経の内容をわかりやすく
記しました。

仏教についてよく知り、
多くの人に仏教を広めて
いこうとしたのです。

大人になったすがた

むね
胸の前で「笏」というものをかまえ、
堂々とした雰囲気。目には青緑色のうす
いガラスの板がはめこまれていたり、ま
つげをさしていた跡があったりと、リア
ルにつくろうとしたことがわかります。
太子が亡くなってから、ちょうど500年
後につくられました。



国宝 聖徳太子および侍者像のうち聖徳太子
平安時代 保安2年（1121） 奈良・法隆寺蔵

法隆寺の金堂と五重塔の宝もの

太子が建てた法隆寺。

六七〇年に火事で燃えてしまいましたが、その後にもまた建て直されました。

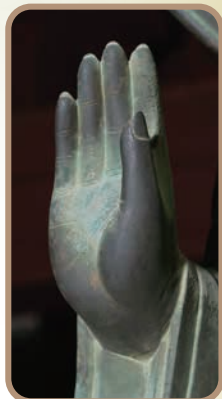
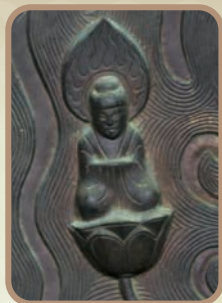
木でつくられた建物としては、今、世界で最も古いものです。

とくに、金堂と五重塔には、古くにつくられた宝ものがたくさん伝わっています。

金堂には、太子の父である用明天皇のためにつくられたとされる仏像（左ページ）などがあります。



頭の後ろにある葉のような形のものは、ほとけさまの体から出るオーラを表したものの。小さなほとけさまが7体いたり、草花のようなもようが表されています。



細長い顔の形、アーモンドのような形をした目、ほほえみを浮かべる表情は、何とも神秘的！

国宝 やくしにょらいざう 薬師如来坐像

飛鳥時代・7世紀 奈良・法隆寺蔵

ほとけさまの衣が、座っている台におおいかぶさっています。衣のひだが、まるで波のようにも見えますね。

クイズ4

このほとけさまの手には、あるものがあります。そのあるものとは一体何でしょう？

①ひも ②指輪 ③水かき



北の場面

◇◇◇ 仏教をはじめたお釈迦さまが亡くなる場面を表しています ◇◇◇



中央には、横になっているお釈迦さまが…。そして、お釈迦さまのまわりには、お釈迦さまの死を悲しむほとけさまや人びとが集まっています。



なげき悲しむお坊さんの像。
悲しむ表情はとてもリアルで、
今にも泣き声が聞こえてきそうです。

クイズ5

このほとけさまや人びとの像は、
何でつくられているでしょう？

①土 ②木 ③石



国宝 羅漢坐像 (塔本塑像のうち)

奈良時代・和銅4年(711) 奈良・法隆寺蔵

東西南北の方角ごとに表される場面がちがっています。

表された場面は全部で四つ。

しかも、その仏像たちで、仏教にまつわる物語の場面を表しています。

法隆寺の五重塔には、
今からおよそ一三〇〇年前に
つくられた仏像が数多くあります。

